



# Press release

2019年10月18日

## アクサ生命、『社長さん白書 2019』を発表

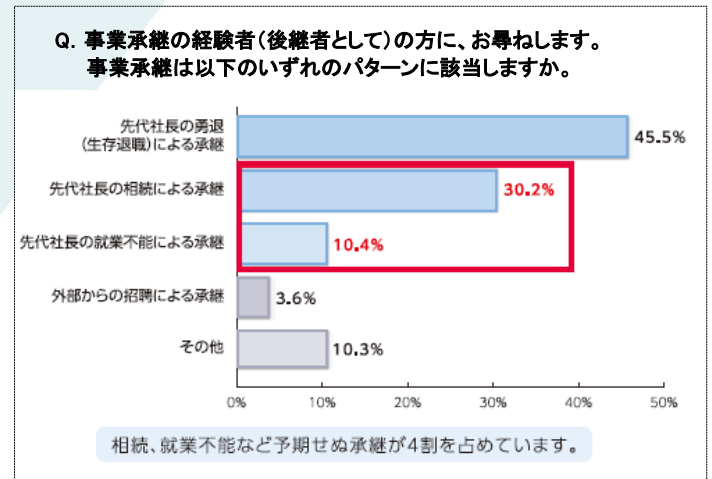
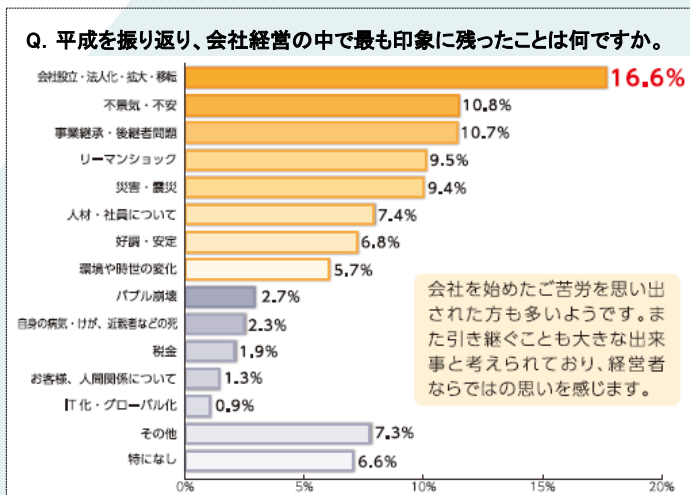
～全国の中小企業経営者を対象に対面調査を実施、認知症や事業承継への備えが大きな課題に～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼CEO:安淵聖司、以下「アクサ生命」)は、全国の中小企業経営者を対象に対面で実施した大規模意識調査の結果に基づき、『社長さん白書2019』を発表しました。

2004年以来8回目となる今回の意識調査では、アクサ生命が共済・福祉制度をお引き受けしている商工会議所会員企業を中心に6,622名の中小企業経営者から、事業承継や就業不能リスク、介護・認知症への備え、健康経営などに関する現状と課題を聞きました。また、経営者の配偶者を対象に、「社長の奥さま白書2019」と題したデジタルアンケートも併せて実施しました(調査期間:「社長さん白書」2019年5月～8月、「社長の奥さま白書」2019年5月～7月)。  
主な調査結果は以下の通りです。

### 「事業承継の準備」について:約半数の経営者は事業承継の方針や時期を決めていない

「平成」における最も印象に残った出来事の上に「事業承継・後継者問題」が挙がり、事業承継の経験のある経営者のうち、**40.6%が事業承継の契機が先代の死亡による「相続」や「就業不能」など予期せぬタイミングであったと**答えています。また、**80%以上の経営者が「勇退」を前提に考えている一方で、49.4%の経営者は事業承継の方針や時期は「決めていない」と**答えています。さらに、「**自社株式の評価を試算したことがない**」と答えた経営者は全体で**59.3%**、**創業の経営者では74.9%**と、計画的な事業承継に対する意識啓発が必要であることが読み取れます。



### ■ 会社の設立や承継関連について

自身の会社を立ち上げて、これからの気持になり気が引き締まった事

個人事業から法人にした事。思った以上に細かい事大変

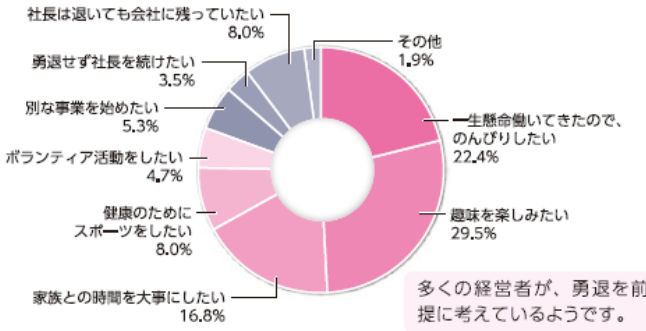
業績悪化の状況での社長就任でしたが、従業員達の意識改革を行ない会社を建て直した事

創業の難しさ。しかし、創業より継続していくことはもっと難しく、やり甲斐があると感じている

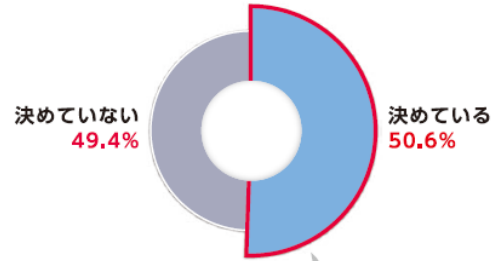
後継者として自分の子供(婿)が会社で働いてくれていること

皆様からの声(抜粋)

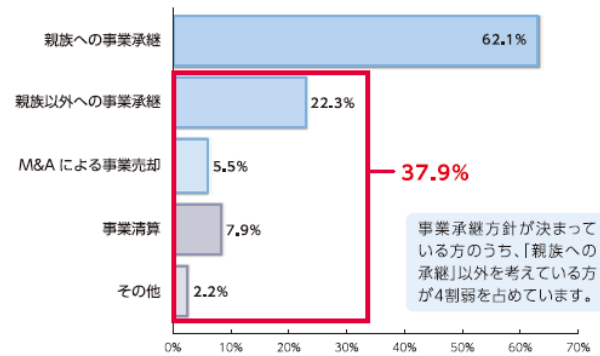
Q. 勇退後の時間をどのように過ごしたいですか。



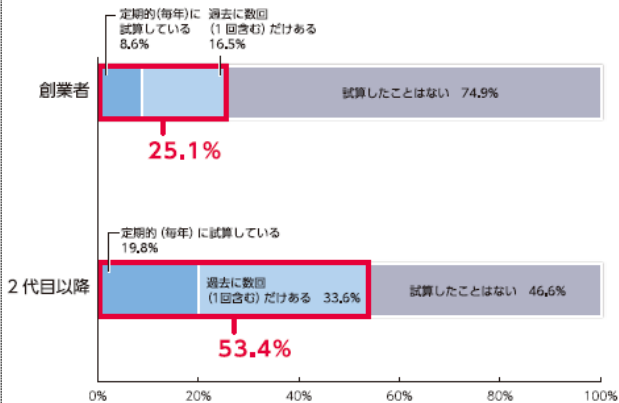
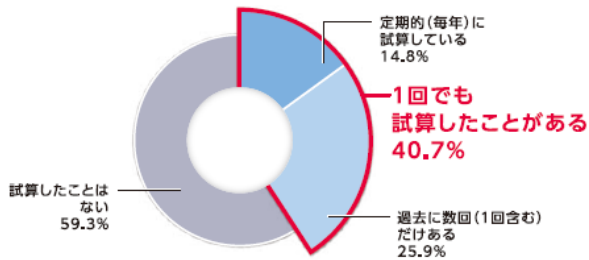
Q. パトナタッチ(事業承継)の方針や時期を決めていますか。



決めている(50.6%)方の承継予定先(方針)



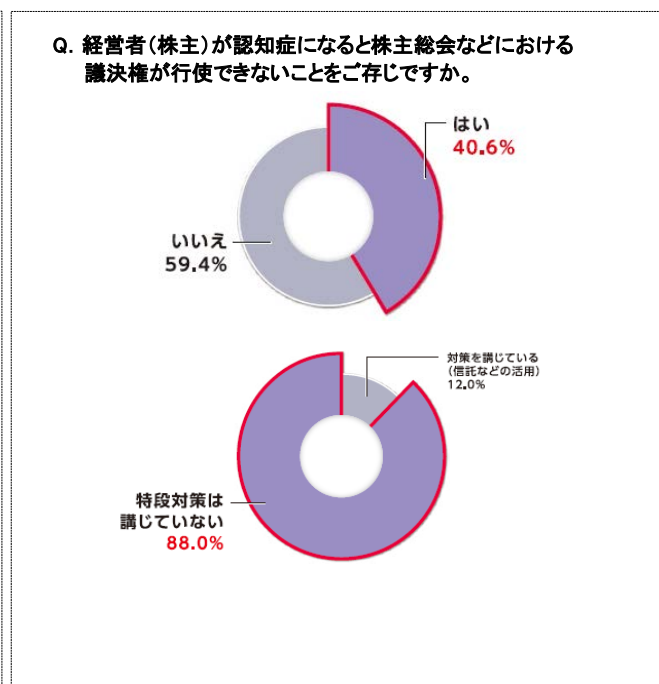
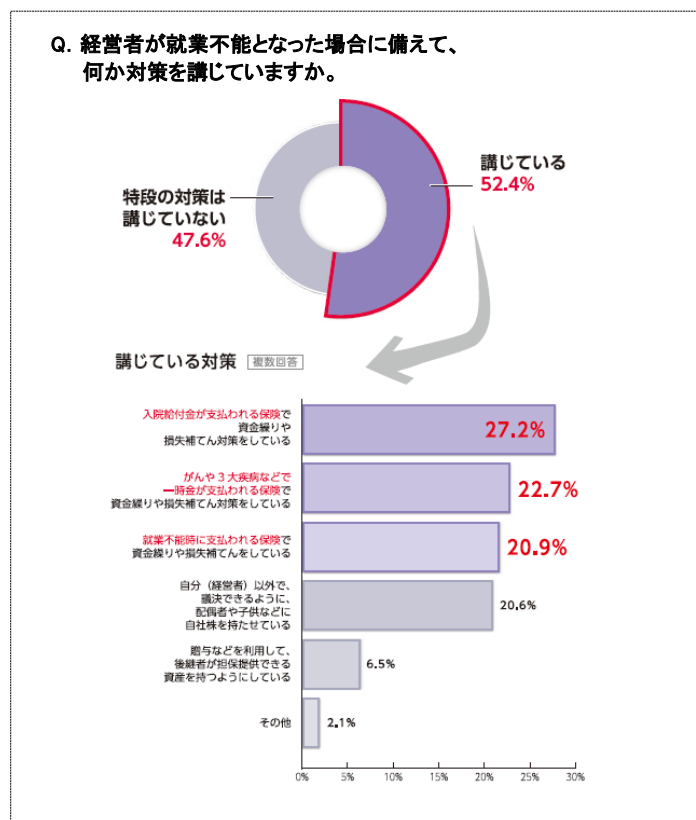
Q. 今までに、自社株評価額を試算したことがありますか。



6割の企業が「自社株評価をしたことがない」と回答。特に創業者の方は自社株試算したことない方が多いようです。

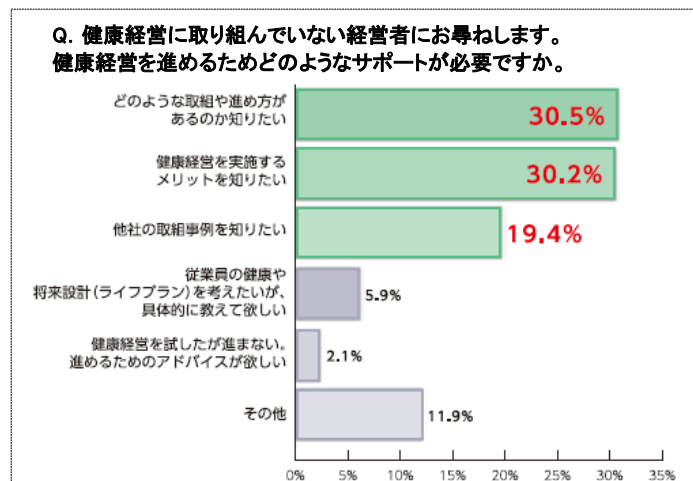
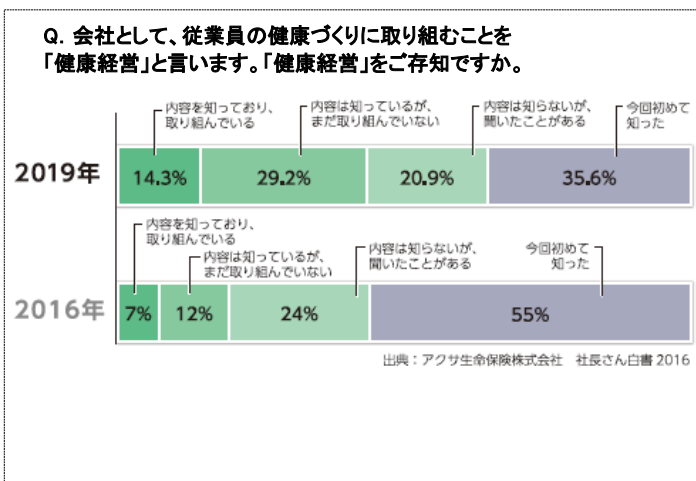
「経営者の就業不能」について：経営者の就業不能、特に認知症への備えは大きな課題

「経営者の就業不能」については、経営者、配偶者とも後継者問題、信用低下、経営の停滞など多方面にわたり影響が生じると認識しているものの、47.6%の経営者が「特段の対策は講じていない」と答え、経営者が働けなくなるリスクへの備えが進んでいない現状がうかがえます。厚生労働省によると、日本の65歳以上の認知症高齢者は、2012年の462万人から、団塊の世代が75歳以上となる2025年には約700万人（65歳以上の高齢者の約5人に1人）に達するという推計もある中※1、経営者（株主）が認知症になった場合に議決権が行使できないという課題に対して「特段対策は講じていない」と回答した経営者は約88%に上り、認知症への備えも大きな課題であることが浮き彫りとなりました。



「健康経営」について：「健康経営」の導入・実践に最初の一步を踏み出すためのサポートが必要

従業員の健康づくりを重要な経営課題と位置づけ、生産性や企業価値の向上につなげる「健康経営※2」については、「内容を知っている」と答えた経営者が43.5%を超え、2016年の19%から倍増し、認知の高まりを示す結果となりました。一方、「健康経営」に取り組んでいない経営者は、具体的な推進方法やメリット、他社事例の情報を求めていることがわかり、「健康経営」の導入・実践に最初の一步を踏み出すためのサポートが必要であることがわかりました。





「社長の奥さま白書 2019」より 配偶者から社長・経営者へのメッセージ

ありがとうございます。あなたと共に人生をすごすことが出来てとても幸せです これからも末永くお願いします (30代)

社員と自分たちの幸せのために、より良い会社作りをしていきましょう。(30代)

休まず働き頭が下がります。とにかく体が心配です。ベストコンディションで仕事ができるよう、支えていきたいと思います。お互いに元気に働き、元気な老後を迎えたいですね。(40代)

なんでも自分でするのではなく、もっと従業員を頼っていいかと思います。体調を崩すと、本末転倒なので。。。そうやって従業員の方も仕事を覚え成長していき、経営者であるあなたの時間にも心にも余裕ができるかと思えますよ。(30代)

アクサ生命は、本調査結果を踏まえ、今後も経営者の皆さまのニーズにお応えする保険商品やサービスを導入し、よりよいパートナーとして質の高いアドバイスをご提供することによって、中小企業の持続的発展をサポートし、地域経済・地域社会の活性化に資する取り組みを推進してまいります。

※1 出典：厚生労働省作成「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」概要より引用(平成27年1月27日公表)

※2 「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、246 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2018 年度には、2400 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 63 ヶ国で 17 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2018 年度通期の売上は 1,028 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 62 億ユーロ、2018 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,238 億ユーロにのびります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>